

**第73回 価格.comリサーチ『4Kテレビ』に関する調査結果**

**4Kテレビの認知率は86.5%、所有率はわずか0.7%**  
**普及はスタート段階にあるが、購入検討者は13.5%で意欲喚起は順調**  
**購入検討のブランド、ソニー「ブラビア」が42.4%でダントツ**  
**購入予定時期は、サッカーW杯開催の「2014年春夏」が最多(26.7%)**  
**消費者の考える4Kテレビ(55V型)の適正価格は10~20万円**

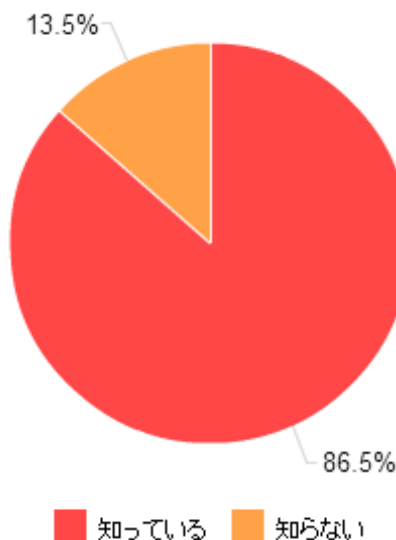
**URL: <http://kakaku.com/research/report/073/>**

株式会社カカコムが運営する購買支援サイト「価格.com（カカク・ドットコム）（<http://kakaku.com/>）」が実施したユーザーへの意識調査「価格.comリサーチ」より、第73回『4Kテレビについてのアンケート！2013-次世代テレビは普及するのか!?-』の調査結果を一部抜粋の上、ご案内します。

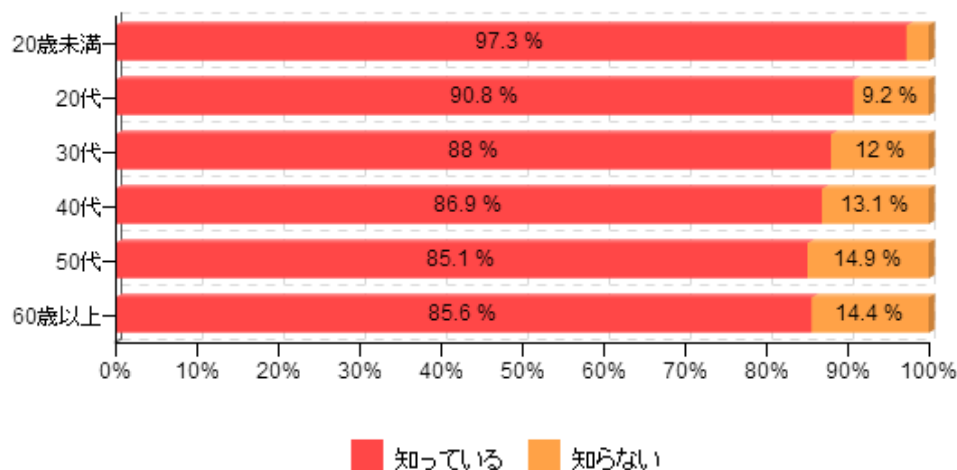
**4Kテレビの認知率：「知っている」86.5%、「知らない」13.5%**  
**所有率：わずか0.7%。普及はまだスタート段階**

4Kテレビの認知率は86.5%となった。今年何かと報道されてきたこともあり、認知度としてはそこそこ高いが、まだ1割以上知らない人がある模様。なお、世代別に見ると、若干ではあるが、年代が高くなるにつれ、「知らない」と回答する割合が増加している。また、4Kテレビはまだ高価な製品ということもあり、所有率はわずか0.7%という結果になった。普及するのはまだまだこれからといった段階であることがわかる。

**【図1. 4Kテレビの認知度】**  
(N=アンケート全回答者)

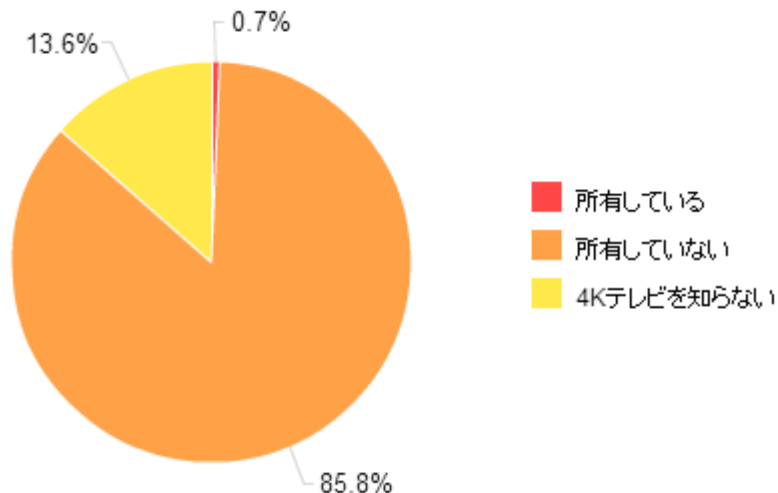


**【図2. 4Kテレビの認知度（世代別）】**  
(N=アンケート全回答者)



【図 3. 4Kテレビの所有率】

(N=アンケート全回答者)

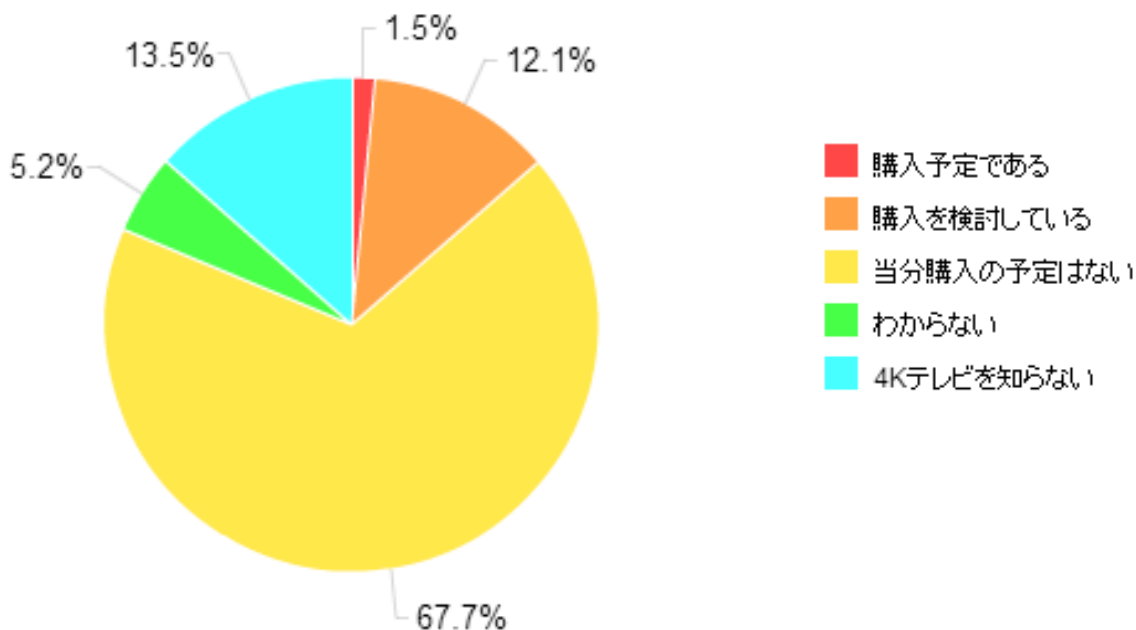
**今後の購入意向：「購入予定」「購入を検討」合計 13.5%。購入意欲の喚起は順調**

4K テレビを購入予定、あるいは購入を検討している人を合わせた割合は 13.5%。明確に「購入予定である」と回答した人は 1.5%だったが、「購入を検討している」とした人が 12.1%に上り、30 万円を超えるような高額製品で、しかもまだ初期段階の製品カテゴリーであることを考えれば、まずまずの購入意欲を喚起できているといえる。

なお、「当分購入の予定はない」と回答した人は全体の約 7 割に達する勢いだが、4K の地上波テレビ放送の開始メドが経っておらず、また、フルハイビジョン（2K）対応のテレビを購入したのがここ数年という人が多いことを考えれば、妥当な割合と考えられる。

【図 4. 4K テレビの購入意向】

(N=アンケート全回答者)



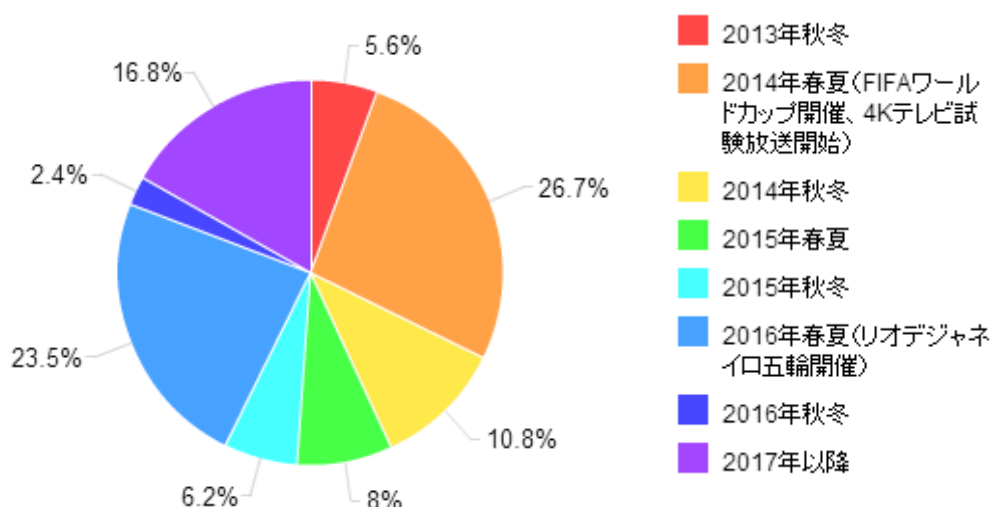
## 購入予定時期：サッカーW杯開催の「2014年春夏」が最多（26.7%）。ビッグイベントに合わせた買い換え需要は健在。

具体的な購入予定時期として、もっとも多かったのは、「2014年春夏」で26.7%。この時期には、「FIFAワールドカップ・ブラジル大会」が開催されるのに加え、総務省による4Kテレビの実験放送が開始される。また、2番目に多い「2016年春夏」（23.5%）には、「リオデジャネイロ五輪」が開催される予定となっており、やはり、こうしたビッグイベントに合わせて、テレビを買い換えようという動きは今も健在といえる。

なお、今年の年末商戦に購入を考えている人は、全体の5.6%。2014年内まで範囲を拡大すると、購入予定・検討者全体の43.1%がこれに当たり、来年2014年にかけて、4Kテレビを購入したいと考えている人が多いことがわかる。

【図5. 4Kテレビ購入検討時期（4Kテレビ購入意向・検討者のみ\*）】

(N=図1にて「4Kテレビを知らない」と回答した方、図4にて「当分購入の予定はない」「わからない」と回答した方を除外)

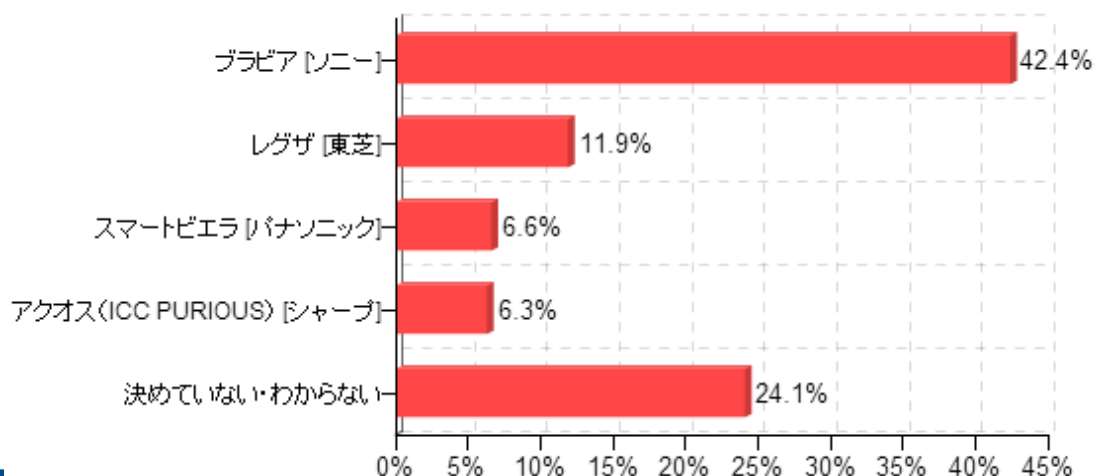


## 購入検討ブランド：ソニー「ブラビア」が4割強でダントツ

4Kテレビの購入を検討しているメーカー・ブランドでは、ソニーの「ブラビア」が42.4%でダントツとなった。価格.comの「液晶テレビ」カテゴリでもダントツの人気を誇る「ブラビア」が、4Kテレビでは他のメーカーを寄せ付けない強さを発揮している。次点は東芝「レグザ」で11.9%、それに、パナソニック「スマートビエラ」（6.6%）、シャープ「アクオス（ICC PURIOUS）」（6.3%）と続いた。パナソニックの「スマートビエラ」はこの中では最後発で、製品発売も11月と遅いが、それでもシャープの「アクオス」を超えているのは注目に値する。

【図6. 4Kテレビの購入検討ブランド（複数回答）】

(N=図1にて「4Kテレビを知らない」と回答した方、図4にて「当分購入の予定はない」「わからない」と回答した方を除外)

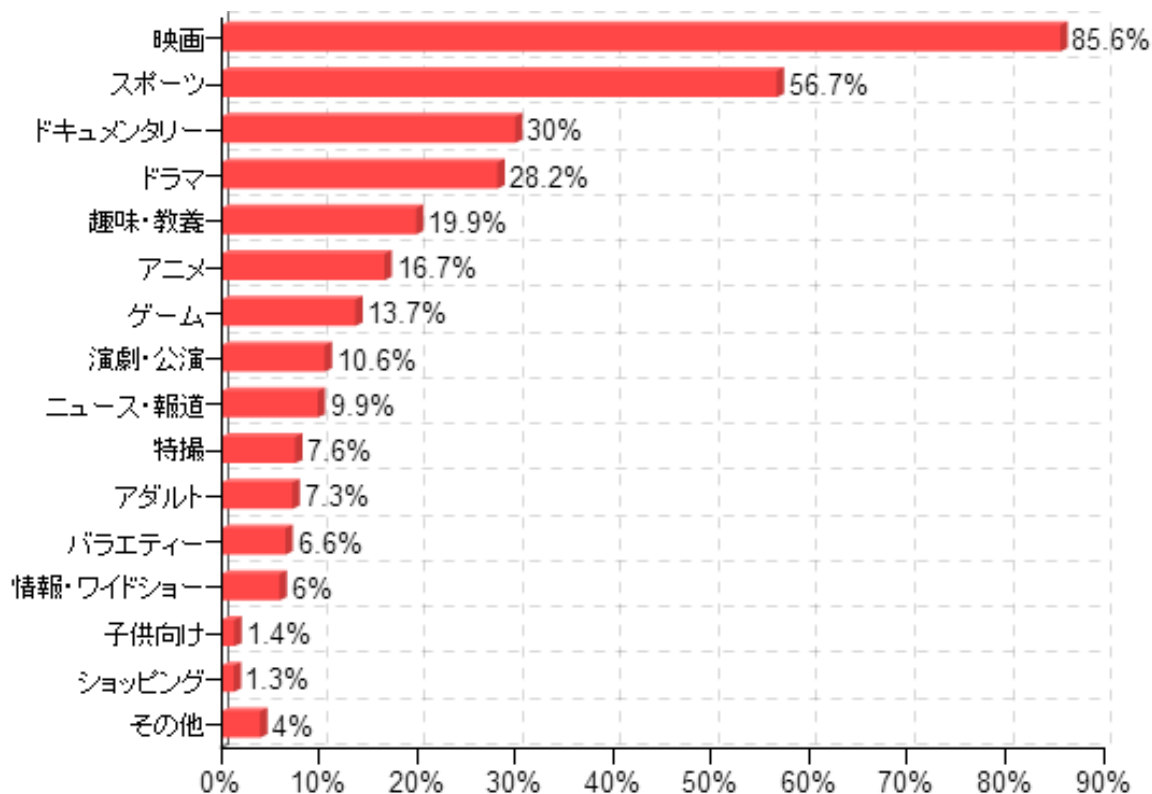


## 鑑賞したいコンテンツ：「映画」（85.6%）、「スポーツ」（56.7%）がトップ

鑑賞したいコンテンツでもっとも多かったのは「映画」で85.6%、次点は「スポーツ」で56.7%となり、この2つがダントツ人気となっている。現状では、4Kテレビは50V型以上の大型画面のテレビに搭載されていることもあって、こうした大画面向けのコンテンツが好まれる傾向にあると言えそうだ。

【図7. 4Kテレビで鑑賞したいコンテンツ（複数回答）】

(N=図1にて「4Kテレビを知らない」と回答した方を除外)



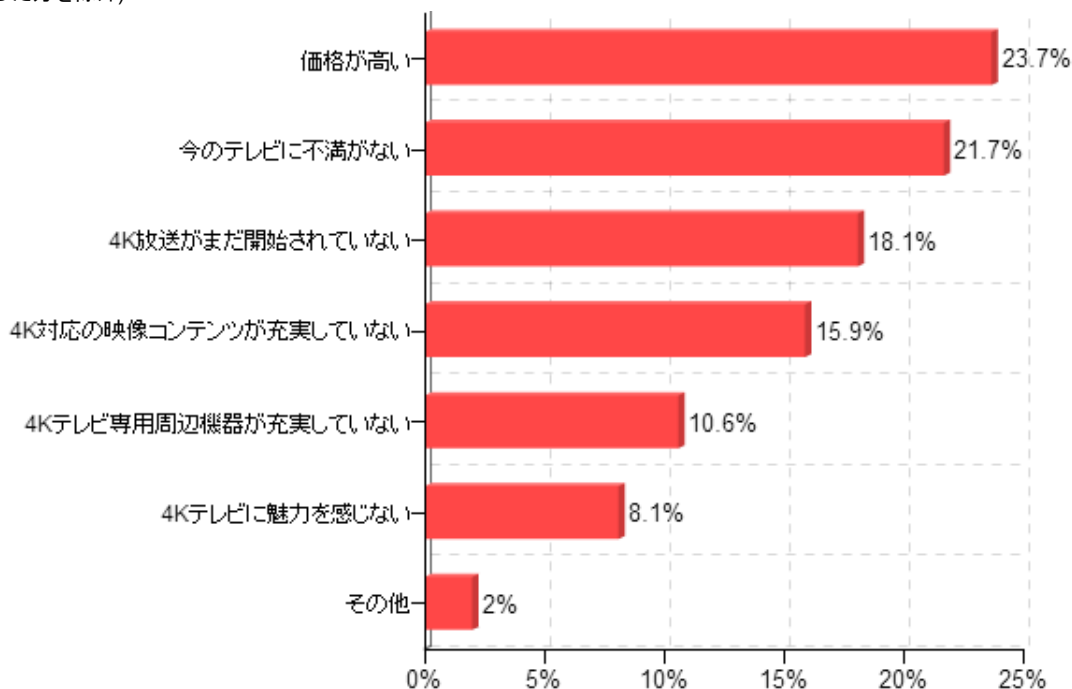
## 4Kテレビを購入しない理由：「価格が高い」23.7%、「今のテレビに不満がない」21.7%

4Kテレビ未購入の理由として、もっとも多かった回答は「価格が高い」（23.7%）となった。4Kテレビはもっとも安い50V～55V型クラスでも30万円以上する一方で、現在のフルハイビジョン（2K）対応のテレビであれば、同じサイズで20万円もしない。この価格差がもう少し縮まってこない、消費者の食指も動かないと思われる。

次に多かった回答は、「今のテレビに不満がない」で21.7%。ここ数年内にテレビを買い換えたばかりの層にとっては、そのテレビでも十分に楽しめており、4Kテレビまで考える必要がないといえる。その他「4K放送が開始されていない」（18.1%）、「4K対応の映像コンテンツが充実していない」（15.9%）などが続くが、やはり4Kテレビ放送や4Kのブルーレイタイトルなどの4Kネイティブコンテンツが充実してこないうちは、なかなか手を出しづらいと予想される。

【図8. 4Kテレビを購入しない理由（複数回答）（4Kテレビ非購入予定者のみ\*）】

(N=図1にて「4Kテレビを知らない」と回答した方、図4にて「購入予定である」「購入を検討している」「わからない」と回答した方を除外)



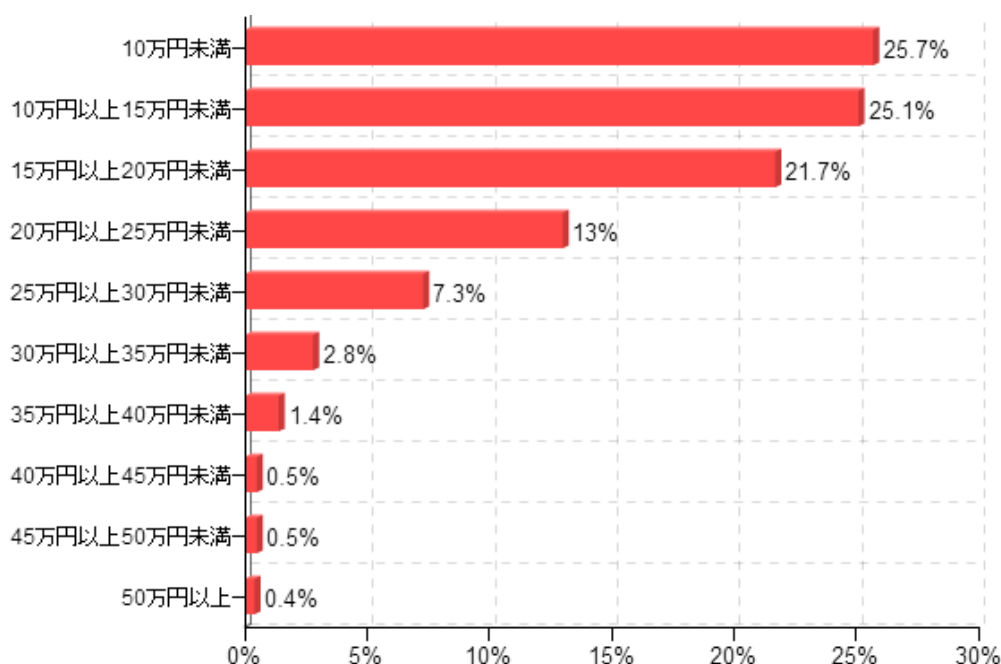
### 消費者が考える4Kテレビの適正価格：10～20万円。現在の販売価格とは10万円程度の差

4Kテレビの認知者を対象に、4Kテレビを購入してもいいと思える値段（55V型の画面サイズを想定）を聞いた。回答の多い順で、「10万円未満」（25.7%）、「10万円～15万円未満」（25.1%）、「15万円～20万円未満」（21.7%）となっており、多くの消費者が適切と考える価格とは、だいたい10万円～20万円といったところであることがわかる。

現状の4Kテレビはまだ55V型クラスで30万円以上しているので、まだ10万円程度の価格差がある。今後価格がこなれてきて、20万円近くになってくれば、購入してもいいと考える人も多く出てきそう

【図9. 4Kテレビを購入してもいいと思える値段（4Kテレビ認知者\*）】

(N=図1にて「4Kテレビを知らない」と回答した方を除外)



**総評(一部抜粋): 鎌田剛 カカコム メディアクリエイティブ部 部長**

今回の調査における「4K テレビ」の認知率は 86.5%。かなり多くの人々が「4K テレビ」のことを知っているが、まだ 1 割以上の人々が知らないということで、まだ認知向上の必要性があることを物語っている。なお、2013 年 10 月現在での「4K テレビ」の所有率はわずか 0.7%。今年は国内の主要メーカーから 4K テレビの普及価格帯製品が出そろったが、普及という意味ではまだまだ始まったばかりの段階といえる。

ただし、「4K テレビ」の購入を検討している人は意外に多く、4K テレビ認知者全体の 13.5%が、今後購入予定、あるいは購入を検討すると回答した。まだ価格も 30 万円以上する高価な製品であることを考えると、比較的高い購入意欲と言えるだろう。なお、購入したい時期に関しては、「FIFA ワールドカップ・ブラジル大会」が開催され、4K テレビの試験放送が開始されるとされている、来年「2014 年春夏」と回答した人が 26.7%でもっとも多く、少なくともその 2 年後、「リオ五輪」が開催される「2016 年春夏」までに購入したいという人が多かった。やはり、テレビの買い換えタイミングとしては、こうした大きなスポーツイベントが今でも効果的ということがわかってくる。

購入したいブランドでは、ソニーの「ブラビア」がダントツの 1 位で、次いで東芝「レグザ」、パナソニック「スマートビエラ」、シャープ「アクオス (ICC PURIOUS)」となっている。ソニーの「ブラビア」は、今年 6 月 1 日に、各社の先陣を切る形で普及価格帯の「4K テレビ」を投入し注目を集めたが、性能面でも評価され、現状での人気はダントツとなっている。また、最後発となったパナソニックも、このアンケートを実施した段階では、まだ製品が発売されていないが、それでもシャープを抜いて 3 位につけた点は注目したい。

逆に、「現状 4K テレビの購入予定がない」と回答した人に、その理由を聞くと、やはり「価格が高い」という意見がもっとも多かった。妥当な価格としては、55V 型で 10~20 万円という回答が多く、現在のフルハイビジョンテレビ並みの価格にならないと、なかなか手を出しづらいようである。このほか、「現状のテレビで不満がない」「4K 放送やコンテンツがまだ始まっていない」などの理由も多くあげられており、4K コンテンツの開始・普及が、4K テレビの普及のカギとなることは間違いないだろう。

※詳細結果、総評全文および過去のリサーチアーカイブは以下 URL をご参照ください  
<http://kakaku.com/research/backnumber.html>

**【調査パネル】**

調査エリア：全国 調査対象：価格.comID 登録ユーザー

調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査

回答者数：5,856 人 調査期間：2013 年 10 月 10 日~2013 年 10 月 16 日

※四捨五入による端数処理のため、合計が 100%にならないことがあります。

**【価格.com サイトデータ】(2013 年 9 月末現在)**

月間利用者数 4,431 万人、月間ページビュー 9 億 1,128 万 PV、累計クチコミ件数 約 1,610 万件。

<利用者内訳>PC：3,026 万人 スマートフォン：1,328 万人 フィーチャーフォン：77 万人

**【報道に関するお問い合わせ先】**

株式会社カカコム 広報担当 e-mail: [pr@kakaku.com](mailto:pr@kakaku.com)

**データの引用・転載時のクレジット表記について**

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

**クレジット表示例**

- ・「価格.com リサーチ」調べ
- ・購買支援サイト「価格.com」が実施した調査によると…